



おにぎりをこしらえる

校長 岡 祐一郎

料理というのは不思議なもので、手をかけるほどにおいしくなるものだ。

11月9日水曜日、抜けるような気持ちのよい青空が広がる朝、中学部3年の生徒2名と引率職員4名の修学旅行団は、一路鹿児島を目指して盲学校を出発した。6人は、2台のタクシーに分乗して佐賀駅へ、佐賀駅からは特急みどりに乗車して新鳥栖駅へ、新鳥栖駅からは新幹線さくらのふかふかのシートの座席に座り、鹿児島中央駅まではあつという間の1時間20分程、鹿児島中央駅からジャンボタクシーで1時間弱、予定より少し早く、初日の目的地である知覧に到着した。

到着して最初の楽しみは、レストハウスでの昼食。黒豚とんかつ定食だ。「ゆくさおじゃったもんせ。お疲れさまでした。揚げたてがおいしいので、まだ準備していません。これからすぐ揚げるので、少し待っていてくださいね」—お土産売り場でいろんな珍しいものを手に取りながらみんなでわあわあ言っていると、「どうぞ、できましたよ」—さすが、おいしい！サクサクの衣と柔らかく歯ごたえのあるお肉、アツアツのとんかつとみそ汁は最高で、生徒たちも満足そうな表情で食べていたので、とても嬉しく、幸せな気持ちになった。

2日目の鹿児島市内自主研修では2班に分かれ、私たちのグループは、西郷さん終焉の地を現地のガイドさんに案内してもらった。ガイドさん付きのコースを選択したのは生徒の希望によるものだったが、これがとてもよかった！イヤホンを渡されて装着し、ベテランガイドさんの説明を聞きながら歩いて各名所を回るのだが、イヤホンのおかげでガイドさんから離れていても説明を聞き逃すことがないし、質問したい時にはいつでも質問ができるし、私たち3人のためだけにガイドさんが懇切丁寧に案内してくださって、大変ぜいたくな時間だった。ガイドさんは、今日のお客さんが佐賀県の中学3年生だということを事前に聞いて、話すことなどを私たち向けにわざわざ準備してくださっていて、その心遣いがとてもありがたかった。

3日目は佐賀に帰る前に、フェリーで桜島に渡り、昔はなかった長淵剛の巨大モニュメントの前に立った。この地で7万5000人という人を集めて夜通しコンサートを開催した、希代の歌手の意志の力を感じた。

おにぎりをこしらえると言うが、「こしらえる」という言葉の中には、人間があらかじめ何事かを計画して、その実現のために準備をするという心づもりが、つまり人の意志が込められている。今回の修学旅行も、本校の先生たちが前もっていろんなことを考えて準備をしてくれたおかげで、素晴らしいものに出来上がったと思う。

第3回PTA研修会を実施しました

第3回目の研修会は、校外研修を行いました。午前中に上峰町にある障害者雇用支援サービス コルディアール農園、午後からは今年度、佐賀県立点字図書館をリニューアルしてオープンした佐賀県視覚障害者情報交流支援センター「あいさが」を訪問しました。参加者は、保護者4名、職員4名の8名でした。

コルディアール農園は、様々な障害者の方々を雇用し、屋内型の農業を展開されています。3名が1つのチームになって、支援者の方と作物栽培を手掛けておられます。今後、本校の生徒たちの新たな進路のひとつになるのではないかと思います。

「あいさが」では、従来の点字図書館を一新して、さらに視覚障害者が様々な情報を取得できる環境が充実していました。また、情報取得だけでなく、視覚障害に対する相談や支援体制も充実していました。

今回の校外研修では、2つの異なった施設を訪問しましたが、本校の幼児児童生徒の将来の進路や自立支援のため、大いに意義深い研修となりました。



幼小小学部

【社会見学 10/26】

今年度の幼小小学部は修学旅行がなく、5人全員で武雄の「メリーランド武雄」まで出かけました。午前中は、室内遊技場で思いっきり体を動かしました。幼稚部の幼児にぴったりの遊具から、小学校高学年がチャレンジできるクライミングまで、幅広い遊具があり、みな大満足。お弁当の後は、ボウリング体験もして、充実した一日でした。



中学部

【3年生修学旅行】

3年生2名で鹿児島に行ってきました。知覧平和会館では、若い特攻隊員の思いを想像したり、自主研修では、人に尋ねながら目的地をめざしたり、それぞれのめあてをもって、よく学び、よく食べ、楽しい思い出を作ることができました。周囲の人に、感謝の気持ちをもつことでもきて、二人の大きな成長を感じる修学旅行でした。



【職場体験】

1年生は、ドキドキしながら初めての職場体験に臨みました。大人の人に混じっての体験は、学校では学べないことを、いろいろ感じたことでしょう。見つけた課題を今後の学習に生かしていきたいと思います。



高等部

【保健医療科校外学習 10/28】

新型コロナの影響で大阪への修学旅行が中止になってしまった保健科2・3年生。ならばというので、この日は武雄市内の治療院へ校外学習に出かけました。2人とも、自身の将来像を思い描き、俄然やる気になったそうですよ。



プロの手技を体感する2人。き、きもちいい…。

【生徒会役員選挙 11/18】 【生徒総会 12/8】

生徒会長・副会長が、20代・30代から10代の2人に若返り。このあたり、幅広い年代が集う盲学校ならではの。選挙ののち、生徒総会での承認を経て、いよいよ新年1月から新執行部がスタート。若さに期待大です。

寄宿舎

【睦新聞】

作品を通じて自分の長所や経験してきたことなどを、共に生活する舎生や職員に知ってもらう機会の一つとして毎年、睦新聞という形で紹介しています。舎生だけではなく、寄宿舎職員、舎監職員も一緒にそれぞれ、自分自身の特技や趣味の紹介、これまでの経験談など読んで楽しい一人ひとりの個性が見られる作品が出来あがりました。

睦新聞の歴史は長く、30年以上続いています。もしかしたら、寄宿舎に在籍していた先生の睦新聞も保管されているのではないのでしょうか。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672